



月刊美術

2021年12月号 注目展にて
『岡啓介個展 2022』を
ご紹介いただきました

今月の注目展
Part.2
⑨

岡啓介個展
—かわうそ画廊(新富町)—
女性像に
いまという
時代を
投影して



夜曲 6F 油彩

おかりいすけ
1962年香川県生まれ。86年香川大学教育学部卒業。2002年同大学院修了。08年新構造展文部科学大臣賞。17年青木繁記念大賞西日本美術展奨励賞。18年「かわうそ新人賞」月刊美術賞。19年新構造展内閣総理大臣賞。現在、一般社団法人新構造社委員(審査員)。

岡啓介個展

会期 — 12月18日(土)~25日(土)
月曜休廊
12時30分~18時/最終日~17時
作家来場18日(土)、19日(日)
会場 — 東京都中央区
新富1丁目8-11 東新ビル
☎03(3552)0550



届いた予想図 6F 油彩

数々のコンクール入選をきっかけに、コミーシャルギャラリーと百貨店での発表を重ねる岡啓介。昨年からかわうそ画廊での初個展での大きな反響を受け、この一年で美術ファンの期待に応えるべく写実技法にますます磨きをかけた。

「深く自己と向き合い、人物の精神性に注視して表現しています」と語り、女性を描きながら人物の背景にある物語や状況に画家自身の内面を投影する。そこには抒情豊かな女性像に、同時代を生きる画家としてのメッセージが込められている。凛とした和服の女性や物思いに耽る人物、さらに風景を織り交ぜた約20点を展覧。新作絵画に「いま」という時代を感じてほしい。